

行政、大規模工場、地域住民、関係機関が参加した“みんなでつくる” 五ヶ瀬川タイムライン検討会（第2回）を開催！

- 行政機関、大規模工場、地域住民、関係機関が参加し、“みんなでつくる”五ヶ瀬川のタイムライン検討会（第2回）を開催しました。（H28.11.30）
- 平成17年台風14号の被害状況や想定最大規模の降雨が発生した際に想定される浸水深や範囲の広がりやプロジェクションマップを用いて時系列で視覚的に示すことより、避難経路や浸水の広がり方を踏まえた、災害対応の検討をすることができました。
- ワーキングでは、過去に発生した大規模災害時の行動や想定最大規模の浸水が発生した時の行動等について、グループ単位での検討を実施しました。

プロジェクションマッピング を用いた浸水想定提示

実践的な災害対応を検討するツールとして、浸水深や範囲の広がりや時系列で視覚的に示すプロジェクションマップを用いました。



座長のコメント

（座長：宮崎大学 村上教授）



もう一度頭の中に入れていただきたいのは、今までの災害対応の延長線上ではないですよということ。
今回の議論でいいタイムラインにして頂ければと思っている。

ワーキングでの検討状況



教訓に学び地域で備える
みんなでまもるプロジェクト